



校長室だより

月立小学校 校長 村上克弥
令和2年8月27日
☎55-2260 第3号

教育目標

ふるさとに誇りをもち
夢と希望に満ちた
心豊かでたくましい児童の育成



2学期がスタート

新型コロナウイルス感染症感染予防対策として、今年度の夏休みは12日間という短い夏休みになりました。短い夏休みではありましたが、子どもたちは、手洗い、三密を避ける等をしっかりと行い、さらに事故もなく元気に2学期を迎えることができました。改めて保護者・地域の皆様方には、夏休みの過ごし方等に留意していただきありがとうございました。

さて、2学期は長い学期になります。コロナ禍ではありますが遠足、修学旅行、ミニ運動会などの行事を計画しています。コロナ感染予防対策をしながら子どもたちが充実した学校生活を送れるよう職員一丸となって教育活動を推進していきたいと思っております。保護者・地域の皆様方には、1学期以上にご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。



第2学期始業式に子どもたちに3つのお願いをしました。紹介いたします。

- ①**挑戦**→「めんどくさいからやらない」、「どうせ無理だから」、「もうできたからあとはやらない」挑戦しなければ手に入れることができません。何事にも挑戦する気持ちで立ち向かってほしいと思っております。
- ②**最後まであきらめない**→せっかく挑戦しても途中であきらめるのはもったいないです。絶対にやりきるぞと強い気持ちを持ってください。
- ③**やさしくする**→いやなことをされたり言われたりされると、とても悲しい気持ちになります。元気もなくなります。誰にでも優しくして、笑顔いっぱいの月立小学校にしましょう。

自立への一歩としての家庭学習



子どもの自立は、家庭学習からと言われています。学校では、授業で多くの子どもたちが「わかった」という経験をしています。しかし、そのままにしておくとその「わかった記憶」が薄れてしまうのです。だから、家庭学習は、「学校でわかったこと」を「知識」としてしっかりと定着させるために必要なのです。その家庭学習が習慣化すれば、自ら自学自習が身についていきます。そうすれば、子どもは自分で物事を深く考えるようになります。

では、どうすればよいかを考えた時、家庭学習の組み立てが大切になります。例えば、まず、その日に出された宿題をする、その日に返してもらったテストやプリントの間違い直しをする、次の日の予習をする(できればわからない言葉は国語辞典で調べたりする)、各自で決めたドリルをする、時間があれば新聞を読んだり、読書をしたりする、次の日の持ち物をそろえる、などがあると思います。各家庭で色々と工夫してみてください。

そして、次に大切なのが保護者の役割です。まず、①学習時間の確保(習い事など、子どもたちも色々忙しいと思いますが、短い時間でも「机にむかう」という習慣をつけさせて下さい。できれば毎日同じ時間帯が望ましいのですが、「何時から何時まで勉強するのか」ということを家庭でよく話し合ってください。)次に、②学ぶための環境づくり(子どもの勉強時間にはテレビの音声は控えるなどの環境づくりが必要です。また、子ども部屋ではなかなか勉強に集中できない子がいます。そういう場合には、居間など家の人がいるところで勉強させる方が効果的なこともあります。「勉強は常に子ども部屋で」とこだわらずに、臨機応変に工夫してください。)最後に、③見届け・励まし(子どもが勉強したことにはできるだけ目を通していただき、ほめたり励ましたりして下さい。)

学校として、家庭学習を大切にしていきます。是非、協力をお願いします。自学自習ができ、いずれは先生や保護者の手を離れていくことになります。その自立への一歩が家庭学習なのではないでしょうか。